

起業家が草潤中でキャリア講話

好きなこと 打ち込んで



「早いうちに好きなものを見つけて、打ち込んで」と語る富田光流社長＝岐阜市金宝町、草潤中学校

岐阜市金宝町の草潤中学校で、3Dプリンターを使った素材加工を手がけるソリノ（神戸町）の富田光流社長（25）が講演し、生徒たちが、起業を将来の選択肢として考えた。（山岸達矢）

「高校時代の部活 選択の後押しに」

幅広い視野をもって将来を
考えてもらおうと、岐阜
県信用金庫が実施、生徒
や職員ら約40人が参加し
た。

富田社長は、高校卒業後、地元の大手企業に入社したが、20年働いても理想の生活ができないと感じ、副業を始め、軌道に乗ったタイミングで起業した。高校時代に、マシンがセンサーでコースを読み取り、プログラムによる自律制御で走行しタイムを競う「マイコンカーラリー」の部活に打ち込んだ。「これが、今につながっている」といい、「これからは、突出した個性や能力が重要になる。早いうちに好きなものを見つけて、打ち込んで」と呼びかけた。

3年の鈴木稜羽さん（14）は「富田さんの話にとっても引かれた。自分も起業してみたい」と目を輝かせていた。